

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
2026年6月23日			
山口県知事 様			
提出者			
住 所 東京都中央区八重洲二丁目2番1号			
氏 名 三井化学株式会社			
代表取締役社長 市村 聡			
代理者			
住 所 山口県玖珂郡和木町和木六丁目1番2号			
氏 名 三井化学株式会社 岩国大竹工場			
執行役員工場長 猿渡 和孝			
(主管課長:安全・環境GL 横山 孝雄)			
電話番号 0827-53-9107			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和7年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	三井化学株式会社 岩国大竹工場		
事業場の所在地	山口県玖珂郡和木町和木六丁目1番2号		
事業の種類	製造業(化学工業)		
産業廃棄物処理計画における計画期間	2025年4月1日～2026年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	88,878 t	全 処 理 委 託 量	5,578 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	3,300 t	優良認定処理業者への処理委託量	5,404 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	80,000 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄			

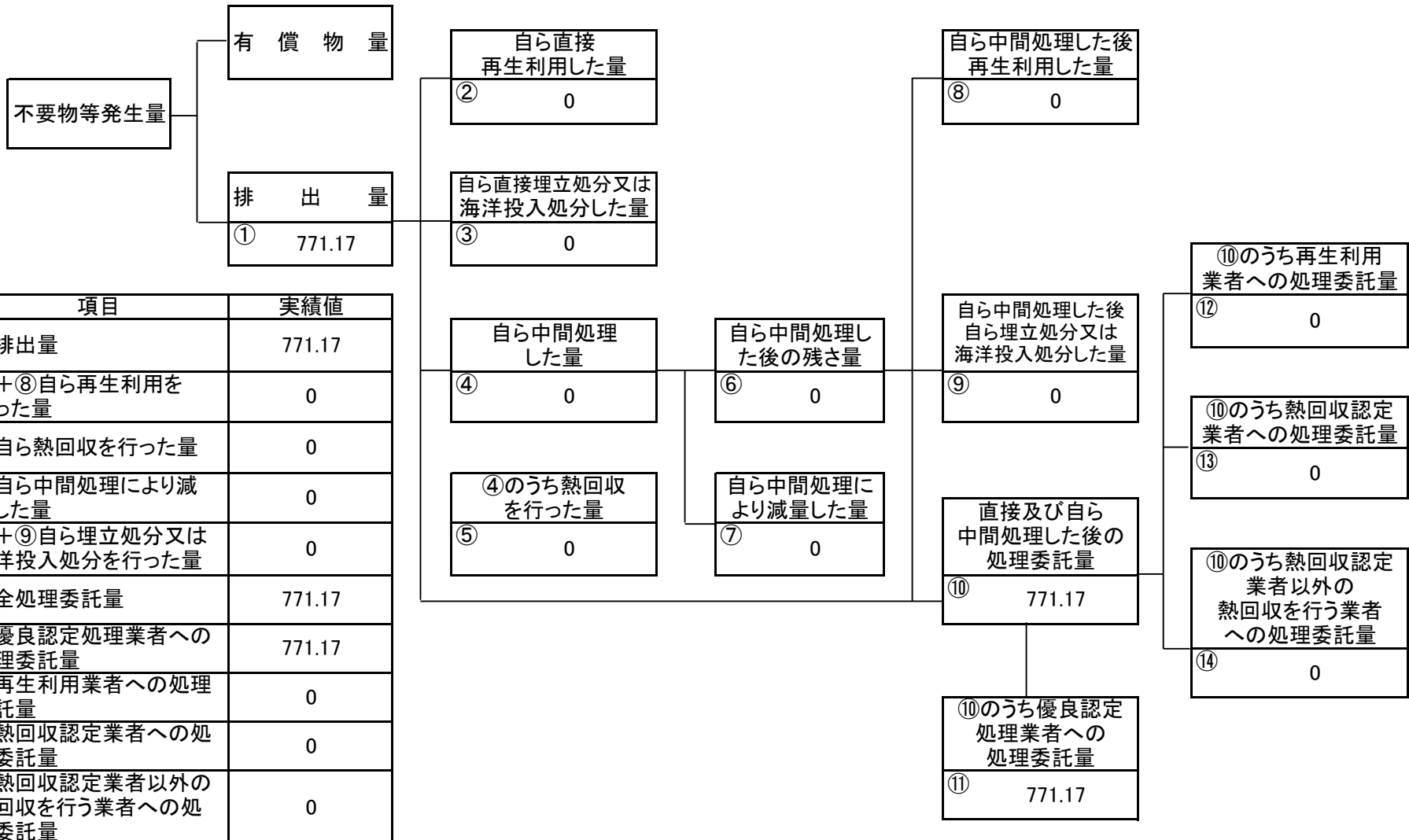
多量排出事業者の産業廃棄物処理計画実施状況報告書(令和7年度実績)

多量排出事業者 名 称	三井化学株式会社 岩国大竹工場	所在地(市町名)	和木町	事業の種類	製造業 (化学工業)
-------------	-----------------	----------	-----	-------	---------------

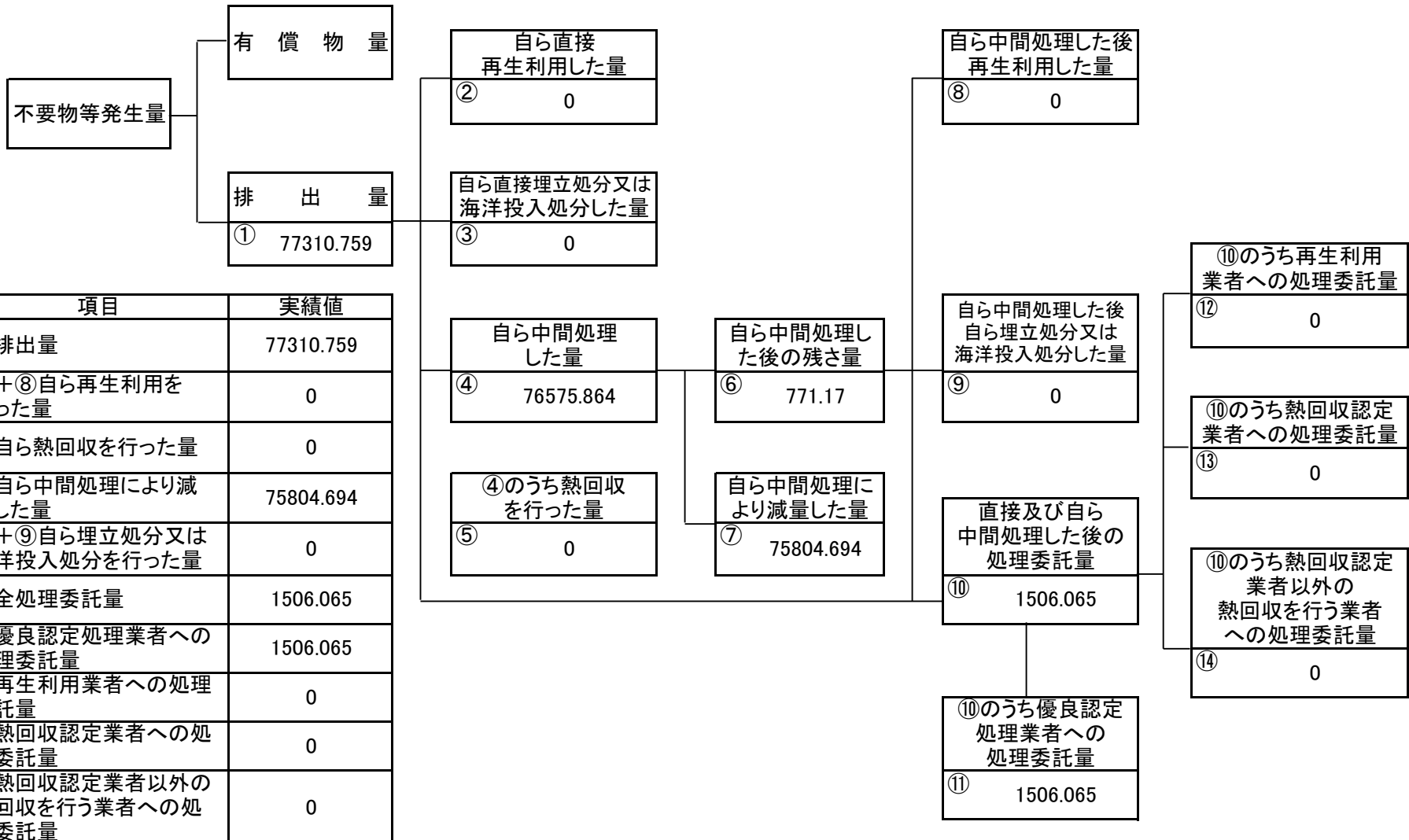
区 分	種 類	計 画 の 実 施 状 況															
		①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④自ら中間処理した量	⑤④のうち熱回収を行った量	⑥④から中間処理した後の焼却量	⑦⑥から中間処理した後の焼却した量	⑧④から中間処理した後、再生利用した量	⑨④から中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩④のうち再生利用するものの処分量	⑪④のうち再生利用しないものの処分量	⑫④のうち最終処分場等への処分量	⑬④のうち最終処分場等への処分量	⑭④のうち最終処分場等への処分量	⑮④のうち最終処分場等への処分量	⑯④のうち最終処分場等への処分量
産 業	燃え殻	771.17								771.17		771.17	0			771.17	
	汚泥	77,310.759			76,575.864	77.17	75,804.694			1,506.065	0	1,506.065	4.87	1,501.395	0	1,506.065	
	廃油	2,977.9047	2,930.194							47.7107	0	47.7107	47.7107	0		47.7107	
	廃酸	8.1708								8.1708	0	8.1708	8.1708	0		8.1708	
	廃アルカリ	116.3244								116.3244	0	116.3244	116.3244	0		116.3244	
	廃プラスチック類	778.5659								778.5659	0	778.5659	92.6623	685.9036	0	431.3236	
廃 棄	紙くず									0	0	0					
	木くず	35.57								35.57	0	35.57	35.57	0		35.57	
	繊維くず									0	0	0	0	0			
	動植物性残さ									0	0	0	0	0			
	動物系固形不棄物									0	0	0	0	0			
	ゴムくず									0	0	0	0	0			
家 畜	畜産くず	13.4396								13.4396	0	13.4396	13.4396	0		13.4396	
	ガラスくず、コンクリートくず、 建築部材くず	57.45								57.45	0	57.45	14.83	42.62	0	57.45	
	雑草									0	0	0	0	0			
	がれき類									0	0	0	0	0			
	動物のふん尿									0	0	0	0	0			
	動物の死体									0	0	0	0	0			
物	ばいじん	114.41								114.41	0	114.41	114.41	0		114.41	
	13号産業物									0	0	0	0	0			
	計 (A)	82,183.7644	2,930.194	0	76,575.864	0	77.17	75,804.694	0	3,448.8764	0	3,448.8764	112.1623	3,336.7141	0	0	3,101.6341

①繰出量	②・③自ら再生利用を行った量	④自ら熟回収を行った量	⑦自ら中間処理により減量した量	③・④自ら中間処理量と②から⑦の差を合算した量	⑤全量廃棄量	⑥生炭灰の処理委託量	⑧再生利用業者への処理委託量	⑨熟回収認定業者への処理委託量	⑩熟回収認定業者以外の処理委託量	⑪熟回収認定業者以外の処理委託量
771.17	0	0	0	0	771.17	771.17	0	0	0	0
77310.759	0	0	75,804.694	0	1,506.065	1,506.065	0	0	0	0
2,977.9047	2,930.194	0	0	0	47.7107	47.7107	0	0	0	0
8.1708	0	0	0	0	8.1708	8.1708	0	0	0	0
116.3244	0	0	0	0	116.3244	116.3244	0	0	0	0
778.5659	0	0	0	0	778.5659	431.3226	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35.57	0	0	0	0	35.57	35.57	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13.4396	0	0	0	0	13.4396	13.4396	0	0	0	0
57.45	0	0	0	0	57.45	57.45	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
114.41	0	0	0	0	114.41	114.41	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
82,183.7644	2,930.194	0	75,804.694	0	3,448.9764	3,101.6341	0	0	0	0

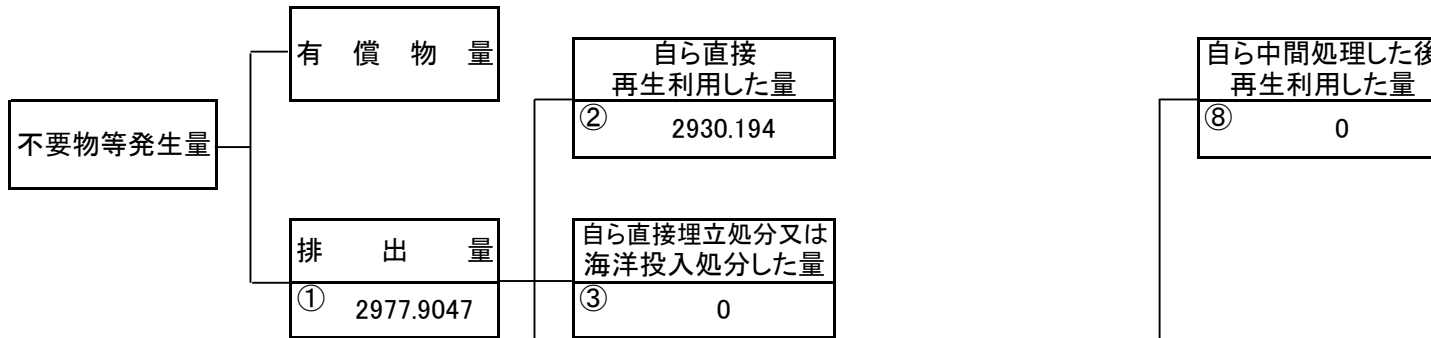
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 燃え殻)



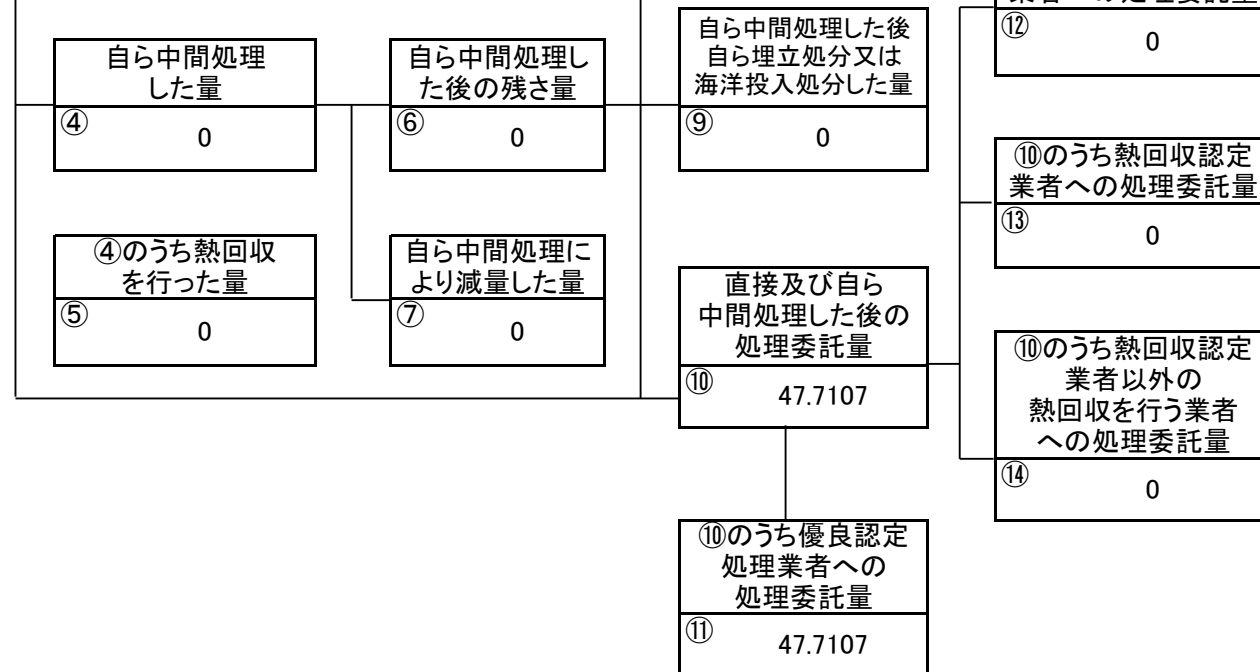
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 汚泥)



計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 廃油)

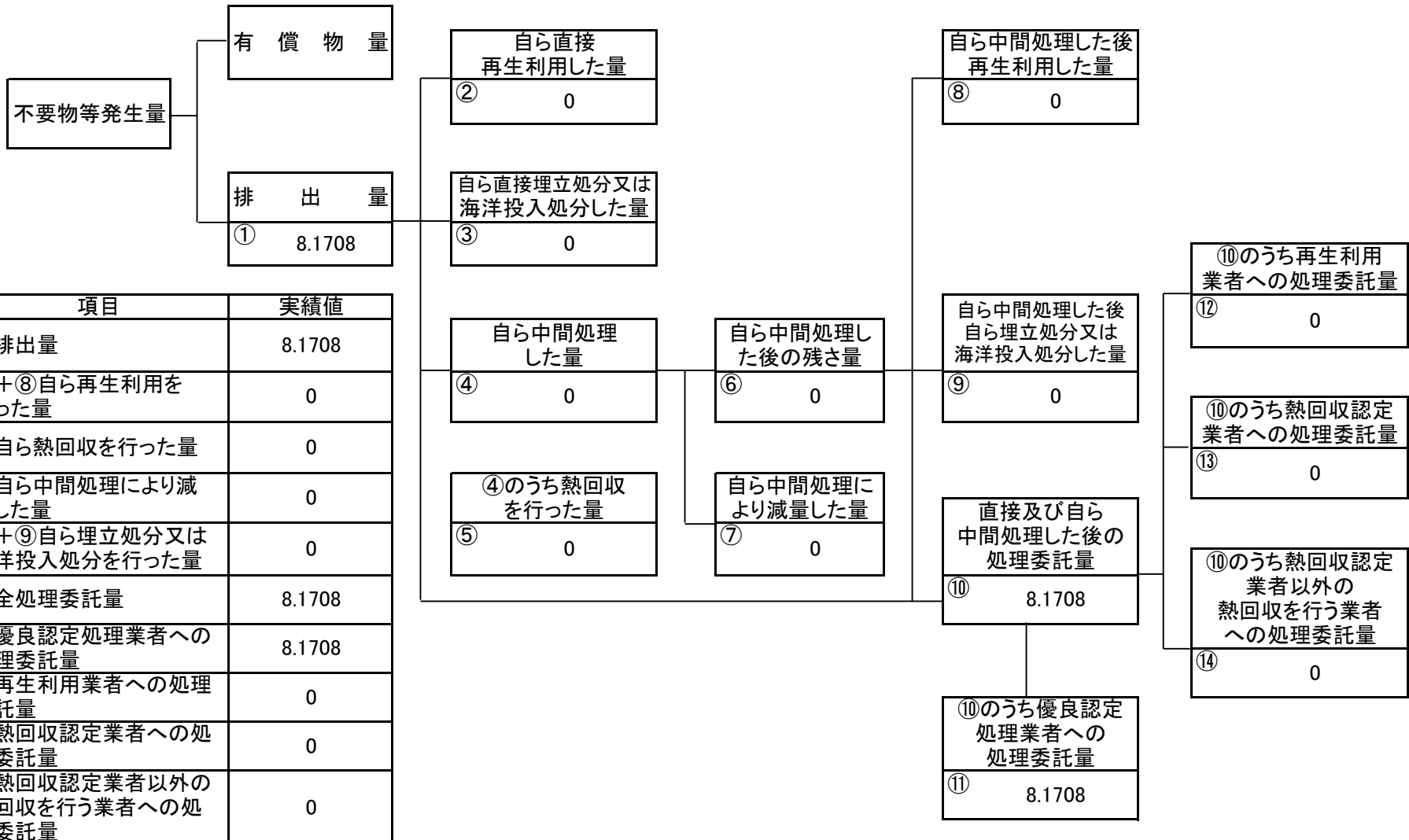


項目	実績値
①排出量	2977.9047
②+⑧自ら再生利用を行った量	2930.194
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	47.7107
⑪優良認定処理業者への処理委託量	47.7107
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

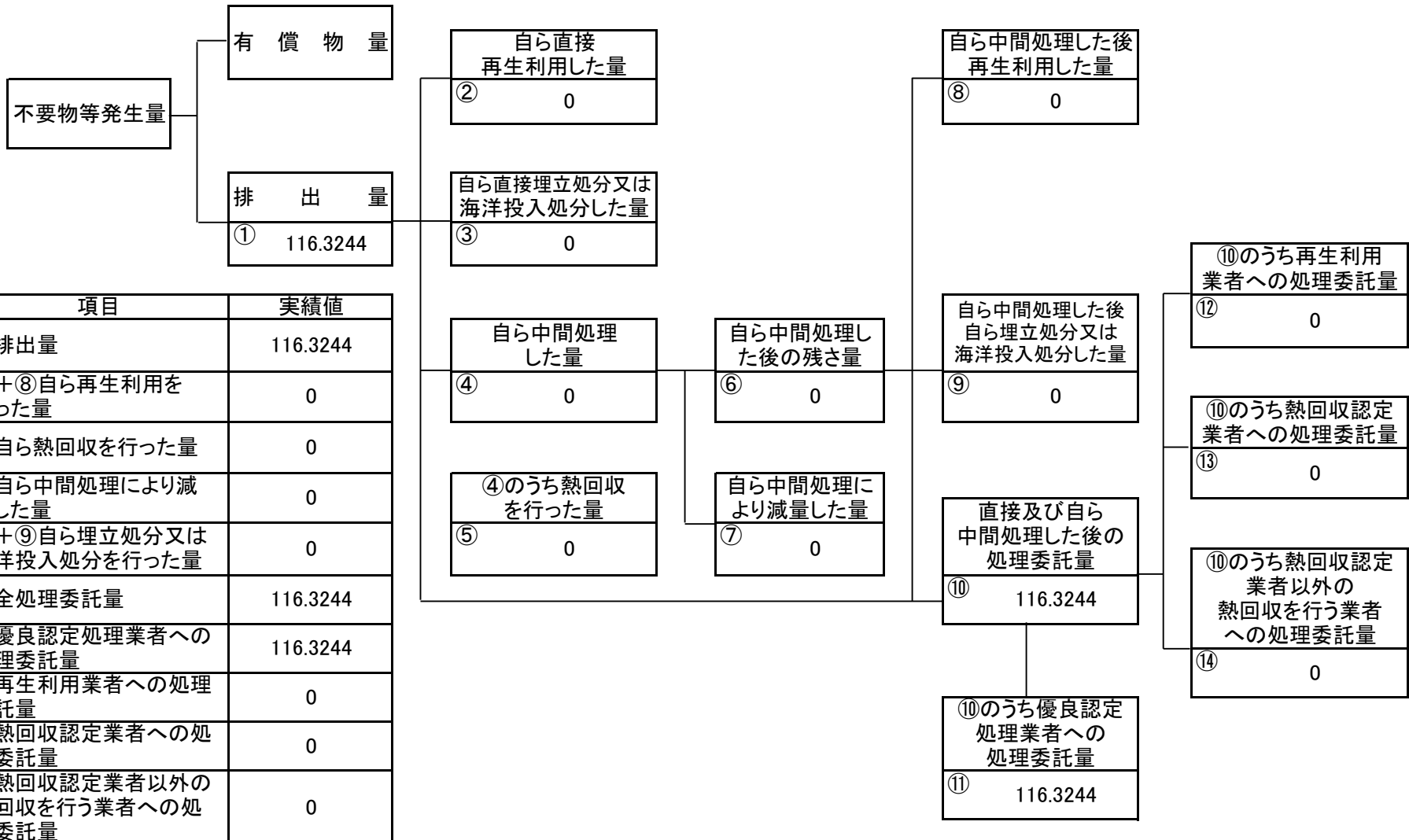


(第2画)

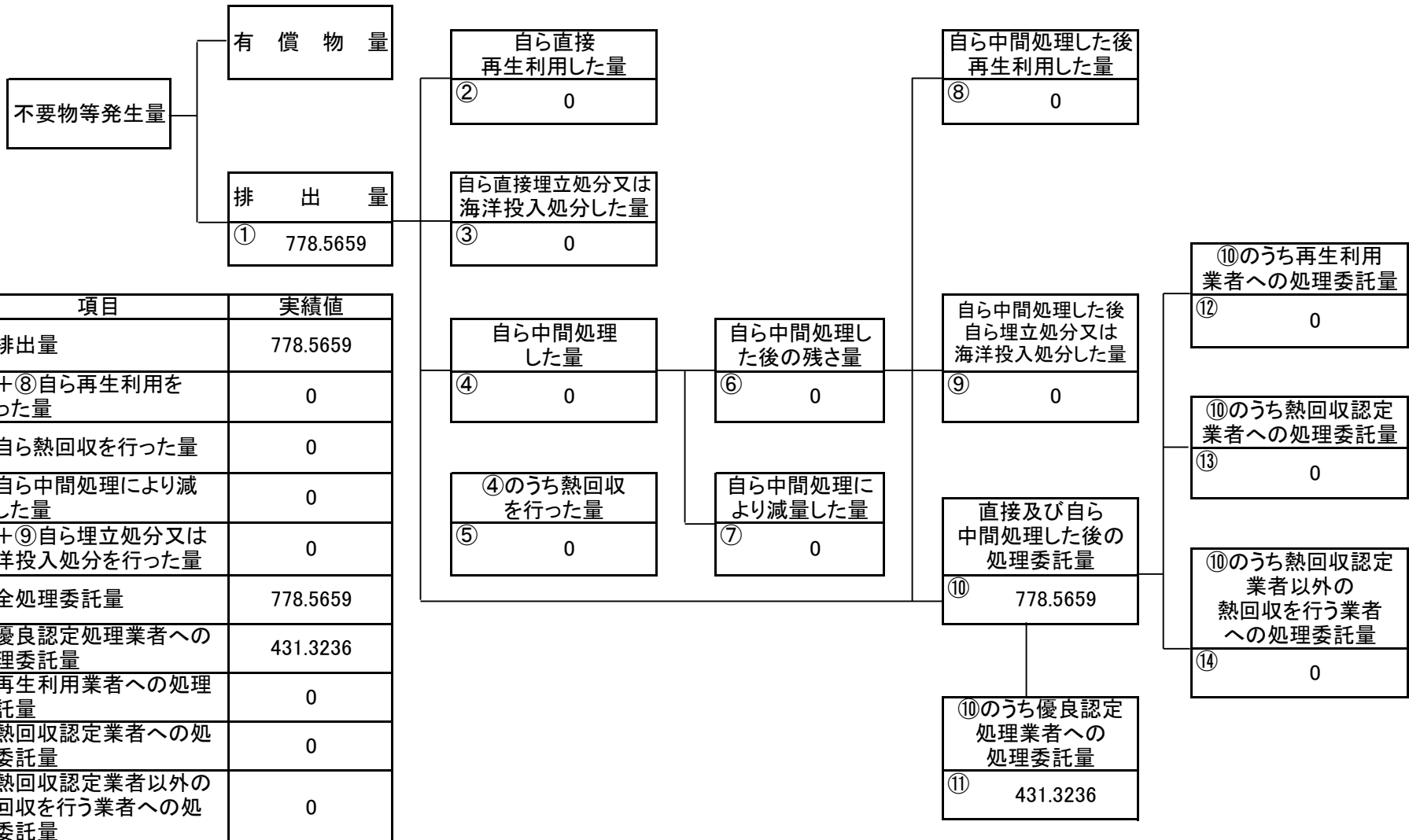
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 廃酸)



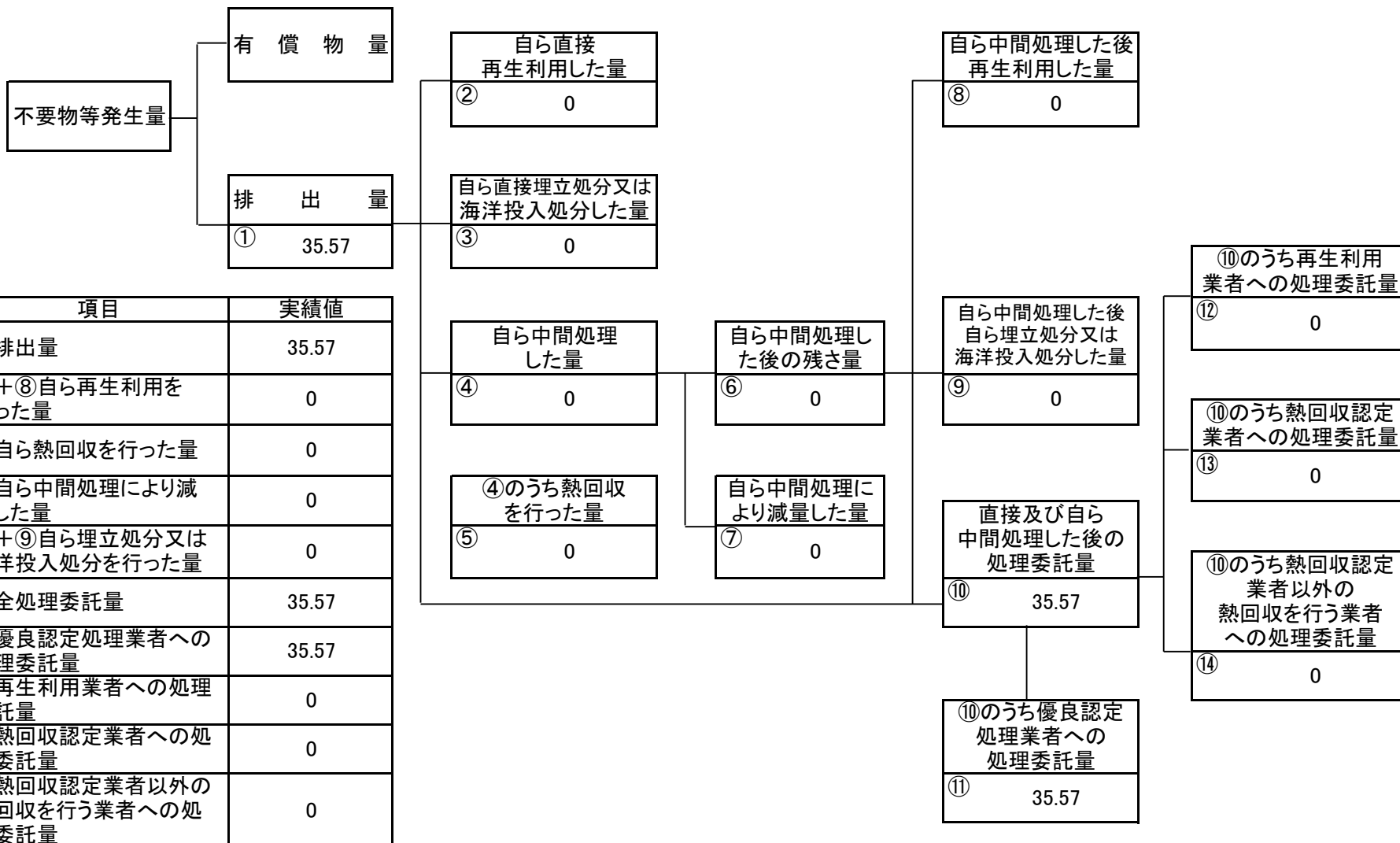
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 廃アルカリ)



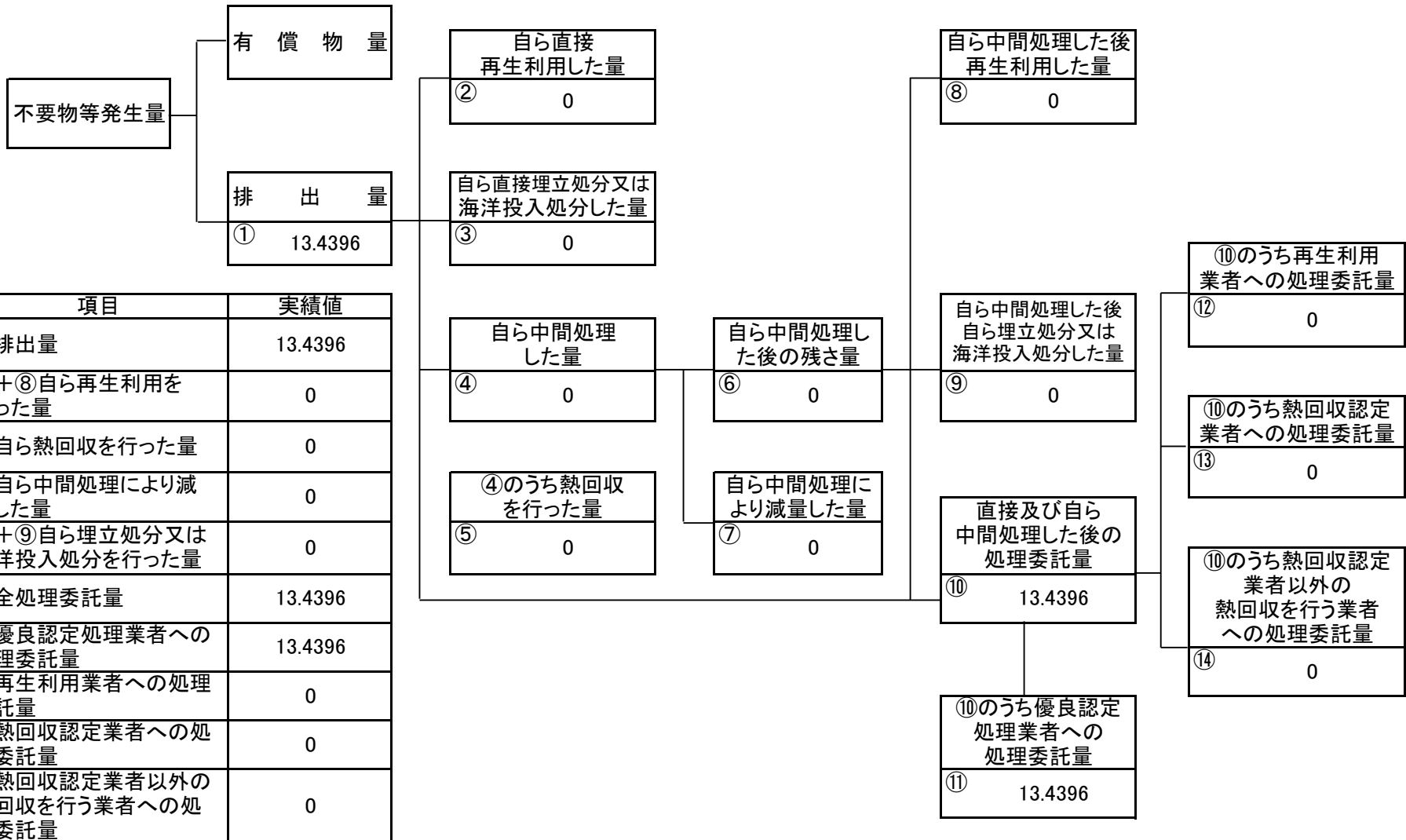
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)



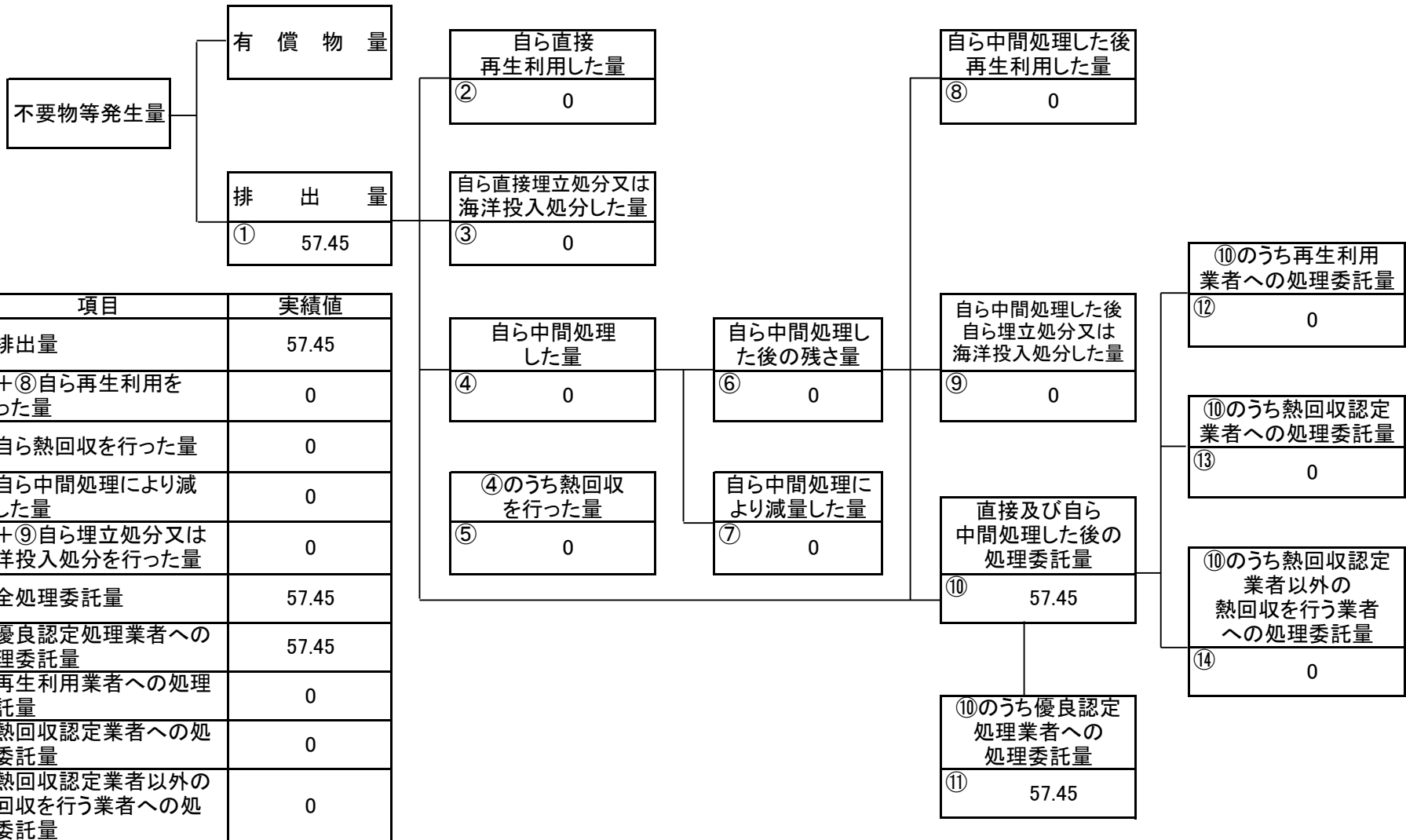
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 木くず)



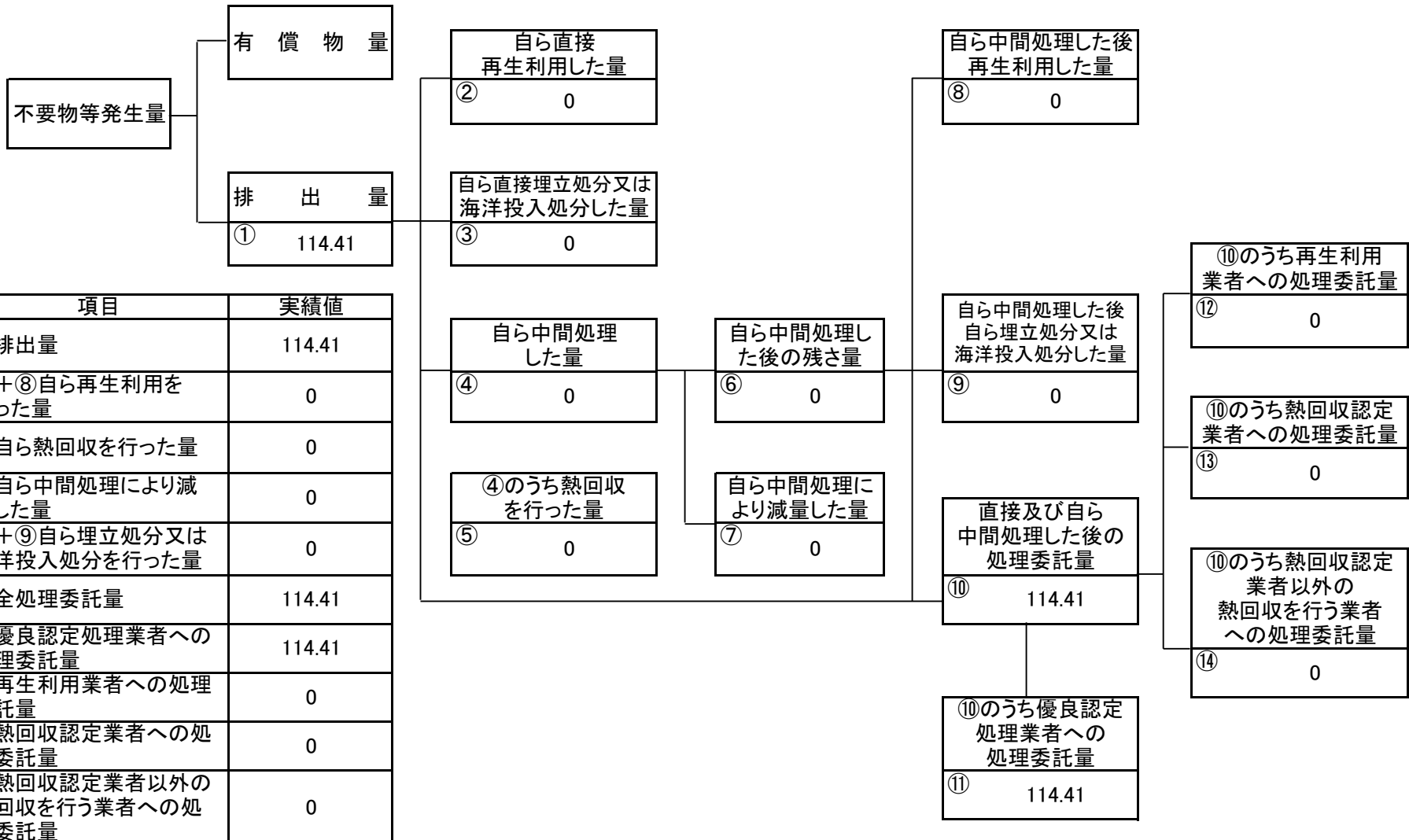
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 金属くず)



計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず)



計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: ばいじん)



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。